

自然の中ですこやかに育つ「奈良っ子」

奈良県の自然保育



奈良県では就学前児童の自然保育に力を入れている。担当部署である奈良っ子はぐくみ課の上杣さんと高見さんに、就学前の自然保育の効果と、自然保育普及の取り組みについて、お話を伺った。



“自然保育”とは、多様な自然環境等を積極的に活用した様々な体験活動を通して、子どもたちの豊かな人間性をはぐくみ、心身の調和のとれた発達の基礎を培うことを目指して行われる保育のこと。



—まずは奈良県が自然保育に力を入れるきっかけになった、2022年制定の「奈良っ子はぐくみ条例」について教えてください。

この条例は、全ての子どもたちが将来に夢と希望を抱き、健やかに成長できるように、奈良県の基本的な考え方や推進する施策などを明らかにするために制定しました。3つの基本理念を掲げて「子どものはぐくみはこの3つの基本理念により行いましょう」という考え方を示し、その取り組みを4つの基本的施策の柱で体系化しています。自然保育に関しては、条例の中で、県が「子どもが自己を大切な存在であると認識し、かつ、他者を尊重する精神を培うことができるように自然等に



奈良っ子はぐくみ条例

3つの基本理念

- 1 子どもの最善の利益を優先する
- 2 子どもの成長の可能性を最大限に拡げる
- 3 子どものはぐくみを社会全体で支える

4つの基本的施策の柱

- ガイドラインを策定
- 1 子どもの健やかなはぐくみ
 - 2 経済的困難を抱える家庭への支援
 - 3 困難な状況にある子どもへの支援
 - 4 子育て家庭への包括的な支援

奈良っ子はぐくみ基本方針

目標 「学ぶ力」「生きる力」を培う 3つの土台をはぐくむ

- 1 自己肯定感・自尊感情
- 2 他者への寛容なこころ
- 3 健やかな身体

<重点テーマの一つ>

自然保育



「子どもが地域において多様な経験を積み重ねることができるよう自然体験活動の機会を提供すること」(第9条)を明示しています。このように奈良県の自然保育は、条例の中で県の責務を明確にし、「県が責任を持って取り組んでいく」という姿勢を示した形になっているのが特徴です。

—「奈良っ子はぐくみ基本方針」についても教えてください。

奈良っ子はぐくみ基本方針は、条例の4つの基本的施策の柱のうち、「子どもの健やかなはぐくみ」につい



て、子どもに関わるすべての人が、共通の意識を持って子どもをはぐくむためのガイドラインとして策定しました。その中では、「学ぶ力」「生きる力」を培う3つの土台「自己肯定感・自尊感情」「他者への寛容なこころ」「健やかな身体」をはぐくむことを目標として掲げており、自然保育はその目標を達成するため県が取り組む重点テーマの1つとして位置づけています。

—自然保育が重要テーマになったのはなぜでしょうか？

幼児期の自然体験には、非認知能力をはぐくむ効果が認められています。「非認知能力」とは、自己肯定感や粘り強くやり抜く力、自律的・主体的に行動する力など、テストで測ったり数値化できない能力のことです。野外体験活動や、外遊びの機会が多くなるほど、大人になってから、何事にも前向きに取り組む力や、落ち込んだ時でも時間をおけば元気にふるまえる力が身につけていることが認められており、このことから、今日の複雑で予測不可能な社会を生きていくための力が自然体験によりはぐくまられると言えます。



奈良県では、子どもが身近な自然の中で豊かな経験を積み、自然への興味・関心を通じて好奇心や探究心をはぐくみ、非認知能力を身につけていくための取り組みの一つとして、自然保育を推進しています。

「自然保育をすすではじめている保育所や幼稚園は複数ありますね。自然保育の効果の実感はありますか？」

実際に、自然保育に取り組まれている保育所や幼稚園に行ってみると、子どもたちがいきいきとしているのを実感します。市販のおもちゃは遊び方が決められていますが、自

「園庭内の自然保育も可というのは、取り組みのための敷居が低くなりますね。」

他県では、活動の度合いにより「特化型」「普及型」というように認証の種類分けをしているケースが見られます。奈良県ではどうすべきか、どのようにすれば保育現場で取り組んでもらえるかということについて、有識者の方を交えた検討会を立ち上げて議論を重ねました。園庭以外の自然フィールドで積極的に取り組んでいる事例を見たときに、「すごいけど、こんなことウチではできない」という意見も出てきてしまいます。自然フィールドで取り組むことはとても



認証団体に交付される認証書は奈良県吉野町国栖の和紙、モニュメントは奈良県産ひのきでできている。

然の中では、葉っぱや土、風などそこにあるものすべてがおもちゃになり、遊び方もアイデア次第で様々です。子どもたちが自ら遊び方を考えてやってみるというのは、非認知能力をはぐくむために、とても大切な要素の一つだと思います。

また、自然の中の活動は、毎日が新たな体験との出会いです。都度直面する課題について、どう乗り越えればよいか、どこまでやると危ないか、などといったことを子どもたちが自ら考えることによって、やり抜く力や主体的に行動する力などが身につくのではないのでしょうか。

「自然体験＝危険」というイメージを持たれる方もいらっしゃいますが、自然保育に積極的に取り組まれている長野県の方や国立曽爾青少年自然の家の方のお話を伺うと、大人がやらせるよりも、子どもたちが主体的に活動したときのほうが、怪我をしにくいとおっしゃっていました。

「自然の中での体験により、生きていくための力が身につくんですね。」

国などの調査でも、自然体験活動が意識や能力に影響するという結果

大切なのですが、奈良県ではひとりでも多くの子どもに自然保育を提供したいという思いから、類型分けをせず認証を行うことにしました。自然保育を行うことを目的とするのではなく、健やかな奈良っ子をはぐくむための方法の一つとして、自然保育の取り組みが広がっていけば素敵だなと思っています。

「まさに自然保育の普及を促進するための認証制度なんですね。」

「認証制度ができたから、ウチの園でも自然保育に取り組みたいと思えた」という声もありました。自然保育にはたくさんメリットがある一方で、「自然の中は危険も多い」という心配から、なかなか取り組みが難しいというケースもあったのですが、園庭でも取り組めたり、安全対策や緊急対応などのリスク管理に関する認証基準を設けることで、「自然保育を始めよう」という声を上げやすくなったという感想もいただいています。

2022年11月からスタートした「奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度」。認証の対象は、県内の保育所・認定こども園・幼稚園・認可外保育施設・継続的に保育を行っている団体など。施設類型を問わず、一定の基準を満たした園が対象となる。現在認証されている団体は12件。令和7年度までに50団体を認証することを目標としている。

奈良っ子はぐくみ自然保育認証団体の紹介

主な活動場所: 自然フィールド 園庭



奈良文化幼稚園
(葛城市)

「わんぱくの森」と名付けられた園庭で、土・水・草木と親しめる。月に一度、一日中自然の中で過ごす「みどりの幼稚園」の日がある。
<https://www.narabunka.ac.jp/kindergarten/>



森のようちえん ウィズ・ナチュラ
(天理市)

自然体験活動を基軸にした保育活動を行う。天候に関わらず、キャンプ場や里山などの屋外で活動する。第一号認証園。
<https://www.withnatura.com/>

が証明されています。文部科学省による『文部科学白書（平成28年度）』では、「子どもの体験活動と意識の関係」が報告されていますが、自然体験が豊富な子どもほど自己肯定感や人間関係能力が高くなる傾向が見られることを示しています。また、国立青少年教育振興機構の『子供頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究』によると、「外遊びを多くし、遊びに熱中している人」ほど、社会を生き抜く資質・能力が高いことが示されています。自然の中では、一人ではできない、誰かと協力しないとできないことができます。コミュニケーション力や表情も豊かになるし、何かをやり遂げるといふ経験ができる。そういうことが大人になってから、生きてくるのではないのでしょうか。

「自然保育の有効性を裏付ける調査結果もあるんですね。他に自然保育のメリットはありますか？」

子どもたちだけでなく、先生自身も自然と触れ合うことで心身がリラックスし、自然体な素の気持ちで子どもたちと一緒に過ごすことがで

きます。ぜひ、先生たちにはそういったところにも着目して取り組んでほしいです。



「自然保育認証制度の創設は、奈良県が全国で5番目ですが、奈良県ならではの特色はありますか？」

他県では、園庭での活動に加え、園庭以外の自然フィールドを活動場所とするように基準を設けているところが多いのですが、奈良県では、園庭以外の活動場所がなくても、つまり園庭だけで活動していても、認証基準をきちんと満たし、「自然保育により、子どもたちをどのようには

自然保育普及のために
他にもこんなことをしています

■ **自然保育に関わる人材の育成**
自然保育者を育成するための研修を年2回程度開催しています。昨年度は、認証制度創設に携わっていただいた有識者の方に「幼児教育における自然活動の教育意義」についてご講義いただきました。今年度は、昨年度実施したアンケート結果で「実践的な研修をしてほしい」というご意見が多かったことから、国立曽爾青少年自然の家の協力を得て、「幼児期における自然体験活動」をテーマとしたフィールドワーク形式の研修

■ **自然保育アドバイザー派遣**
自然保育に関する相談や悩み事の声を上げてもらい、適切なアドバイスができる専門家を県から派遣しています。

■ **実践事例発表会**
自然保育の取組事例を発表する学び合いの場として開催しました。昨年度は保育の取り組みと共同開催し、自然保育関係者と食育関係者が100人近く集まり大盛況でした。

■ **今後の展開**
奈良県が条例や基本方針に基づいて取り組んでいる就学前教育としての芸術、自然保育、食育についてのガイダンスブックを制作しているところです。保育現場の先生が読みたいと思え、就学前の子どものはぐくみに役立つものになりたいと思っています。



葛城市立新庄北小学校附属幼稚園
(葛城市)

園内外の恵まれた自然環境の中で心ゆくまで遊ぶ。試行錯誤を繰り返し、とことん考え、とことん楽しむ。五感を通じ自然と親しむ。
<https://www.city.katsuragi.nara.jp/skitakd/index.html>



葛城市立當麻小学校附属幼稚園
(葛城市)

自然に恵まれた園庭で夢中で遊ぶ子どもたち。毎日が発見の連続で、溢れ出す好奇心やワクワク感が子どもたちの主体性を育む。
<https://www.city.katsuragi.nara.jp/taimakd/index.html>



**日本バプテスト連盟 奈良キリスト教会
附属子ども園 リトルファンファン** (奈良市)

自然の中で味わうハラハラドキドキは、子どもの五感を一番よい形で刺激してくれる。非認知力は生きる力。
<https://narafunfun19.wixsite.com/littlefunfun>



**NPO法人いこま山の子会
いこま山のようちえん** (生駒市)

生駒山で保育を行う園舎を持たない幼稚園。「自分らしく」を大切にしたいニールの「自由教育」を実践している。
<https://ikomayamanokokai.com/>



奈良カトリック幼稚園
(奈良市)

子どもが主体的に活動できるよう心を配るモンテッソーリ教育を行う。自然環境の中で、四季を感じる体験をさせる。
<https://www.naracatholic-youchien.jp/>



あすなら保育園
(大和郡山市)

広大な園庭を生かし、水・土・自然を身体いっぱい感じて遊ぶ。晴れた日は近隣の公園や神社などに毎日散歩に出かける。
<https://asunaraen.or.jp/facility/shisetsu1.html>



愛染幼稚園
(奈良市)

園庭を自然に近い遊び場に整備し、子どもたちの主体的な活動を引き出す。園庭の草花の観察や、畑への水やり、砂遊び、水遊びなど。
<https://aizen.littlestar.jp/>



志都美こども園
(香芝市)

遊びは学びの第一歩を合言葉に五感を刺激した体験をし、気づきを大切に生き抜く力の基礎を育む。
<https://ka-shakyo.or.jp/2020/02/20/shizumi/>



しらゆり保育園
(宇陀市)

保育園敷地内の裏山の自然を生かし、日常的に自然とのふれあいができる環境。遊びの発信基地からの豊富な体験。
<https://masaichi.net/shirayuri/>



大和郡山市立矢田南幼稚園
(大和郡山市)

「遊びの森」のある幼稚園。心を動かし自然と触れ合いながら、好奇心・探求心を膨らませ、豊かな感性と創造性の芽生えを育む。
<http://web1.kcn.jp/yataminami-youchien/>